

みつかった遺物



縄文土器
大半は関西系の土器ですが、上段左の土器は関東系の土器の影響を受けたもので、赤く塗られています。

縄文土器
縁孔土器（えんこうどき）と呼ばれる関東系の土器です。



石鏃（せきぞく）
上段左は黒曜石製。上段右はサヌカイト製。
下段はすべてチャート製。



上段左：磨製石斧未製品（作りかけのもの）
上段右：敲石（たたきいし）
下段左：磨製石斧（破片） 下段右：剥片（はくへん）

まとめ 今回の調査では、縄文時代前期の竪穴住居が3棟と集石炉が1基みつかりました。この時期の竪穴住居は、これまでに県内で8棟しか確認されておらず、大変貴重です。

出土した縄文土器は県内でよくみられる関西系の北白川下層式（きたしらかわかそうしき）の土器だけでなく、関東系の諸磯式（もろいそしき）の土器の影響を受けたものもみられ、当時の交流範囲の広さをうかがうことができます。

石器は様々な種類のものが確認できましたが、特に磨製石斧は完成品だけでなく、作りかけのものや敲石など作るための道具、作る時に出る剥片などがみつかりました。縄文時代前期の集落で磨製石斧を製作していたことがはっきりと分かる例は、県内では、いなべ市員弁町の北野遺跡について2例目となります。

遺跡名 空畑遺跡
原因事業 東海環状自動車道建設事業 調査委託 国土交通省中部地方整備局 調査主体 三重県教育委員会
調査担当 三重県埋蔵文化財センター 〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川 503
TEL:0596-52-1732/FAX:0596-52-7035 <http://www.pref.mie.lg.jp/maibun/hp/>
いなべ整理所 〒511-0415 三重県いなべ市北勢町東貝野 454 番地
TEL:0594-72-8955/FAX:0594-72-8970

東海環状自動車道 発掘調査だより

いなべ編 No.4

三重県埋蔵文化財センター

2018.8.5

縄文時代前期の竪穴住居を発見！

《空畑遺跡》



みつかった竪穴住居1（白線内のやや凹んでいる部分）（東から）

はじめに

三重県埋蔵文化財センターは、東海環状自動車道建設事業に伴い、平成29年度から、いなべ市北勢町塩崎にある空畑遺跡（そらばたいせき）の発掘調査を行っています。今回の調査では、縄文時代前期（約6,000年前）の竪穴住居3棟と集石炉1基を確認しました。また、竪穴住居からは、多数の縄文土器や石器が出土しました。

空畑遺跡と周辺の遺跡

空畑遺跡は、田切川の西側の河岸段丘上にあります。畑の中に土器や石器がたくさん落ちていたことから、平成18年度に発見されました。

採集された土器・石器の特徴などから、発掘調査前から縄文時代前期の集落跡の可能性が指摘されていました。

空畑遺跡のある段丘上には、ほかに、四辻遺跡、下平大野B遺跡、下平大野A遺跡、など、多くの遺跡が確認されています。

四辻遺跡では、平成29年度の発掘調査で室町時代の有力者の墓が2基みついています。下平大野A遺跡・下平大野B遺跡では発掘調査は行われていませんが、石器などが採集されていることから、縄文時代の遺跡と考えられています。



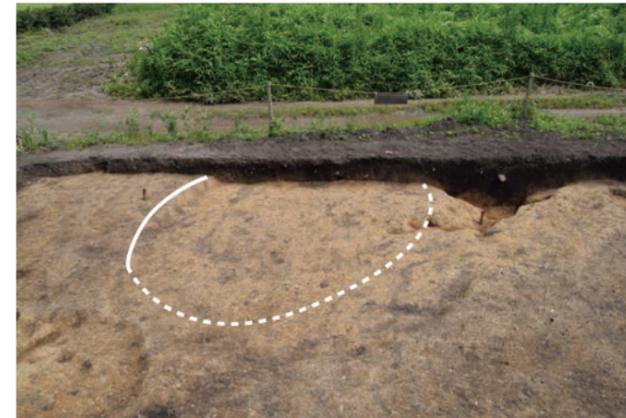
空畑遺跡周辺の主な遺跡



竪穴住居1 (南から)
直径は約3.5mあります。東側に入り口施設の痕跡と思われる小穴が2つ見つかりました。



竪穴住居1の断面 (西から)
竪穴住居の中は、黒い土で埋まっていました。断面の形は周辺部が浅く、中央部がやや深くなる皿状をしています。



竪穴住居2 (南から)
のちの時代の耕作などで大部分が削られていましたが、北側の一部が残っていました。土器や石器が集中していたため、みつけることができました。



竪穴住居3 (西から)
点線内の黒と褐色のまだらになっている範囲が竪穴住居の床面です。
(十字に掘られた溝は、竪穴住居の断面を調べるために掘ったもので、当時のものではありません。)

みつかった遺構

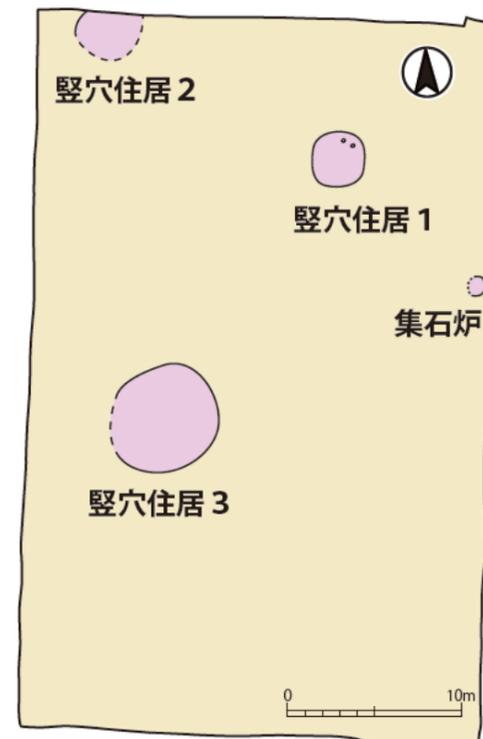
今回みつかったのは縄文時代前期の竪穴住居3棟と集石炉1基です。

竪穴住居の平面は円形で、大きいもので直径約6m、小さいもので約3.5mあります。

竪穴住居1には入り口施設の痕跡と考えられる小穴が2つ見つかりました。縄文時代前期の竪穴住居でこのような痕跡が見つかることは県内では初めてのことです。

集石炉は、灰や炭とともに多数の焼けた石が残された状態で見つかりました。炉穴の直径は1.2m、深さは40cmです。

集石炉は、現在も南太平洋の島々で行われている民俗例などから、石を使って蒸し焼き料理をした跡と考えられています。



調査区遺構略図 (1:400)



集石炉 (北から)
集石炉の西半分(写真右側)は、のちの時代に掘られた溝によって削られてなくなっていました。



集石炉 (西から)
穴の中に灰や炭とともにたくさんの焼けた石が残されていました。